

# SBI-PIMCO 世界債券 アクティブファンド(DC)

追加型投信／海外／債券

## 交付運用報告書

### 第3期

決算日：2021年10月4日

作成対象期間：2020年10月6日～2021年10月4日

#### 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。さて、「SBI-PIMCO 世界債券アクティブファンド(DC)」は、2021年10月4日に第3期の決算を行いました。当ファンドは、主として、世界の債券・通貨などに投資を行い、安定的な収益の確保と信託財産の成長を目指して運用を行いました。ここに期中の運用状況と収益分配状況についてご報告申し上げます。今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。

第3期末(2021年10月4日)	
基準価額	11,092円
純資産総額	574百万円
第3期	
騰落率	6.50%
分配金(税込み)合計	0円

(注1) 騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

(注2) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

(注3) 当報告書における比率は、表示桁未満を四捨五入しております。

○交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書(全体版)に記載しております。

○当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、右記ホームページにて閲覧・ダウンロードいただけます。

○運用報告書(全体版)は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

<運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法>

右記URLにアクセス⇒「ファンド」⇒「当該ファンド」を選択⇒「目論見書・レポート」を選択⇒「運用報告書(全体版)」より該当の決算期を選択ください。

#### SBIボンド・インベストメント・マネジメント株式会社

〒106-6015 東京都港区六本木1-6-1



03-6229-0147

(受付時間：営業日の午前9時～午後5時)



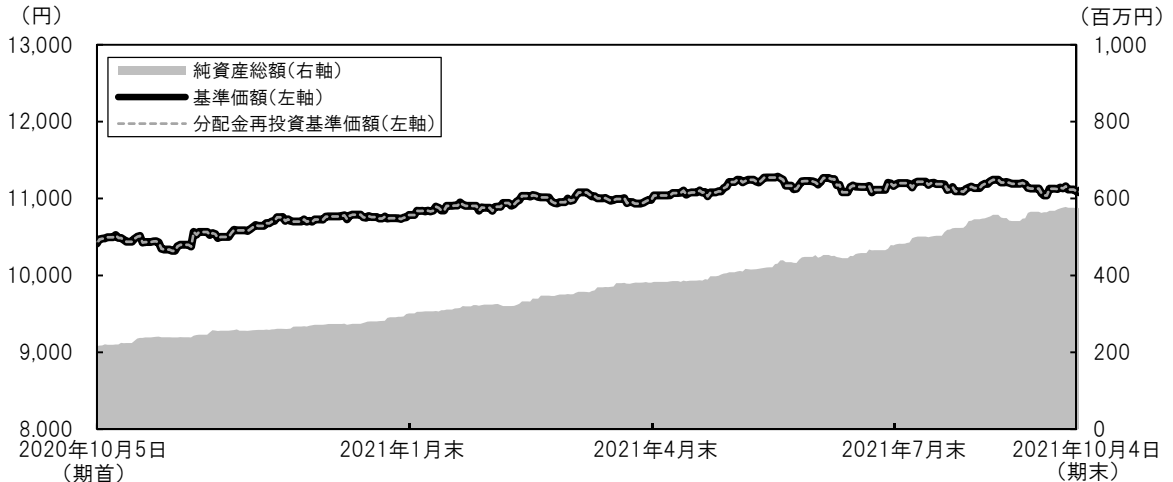
<https://www.sbibim.co.jp/>

ホームページから、ファンドの商品概要、レポート等をご覧いただけます。



## 運用経過

## ◀ 基準価額等の推移 ▶ (2020年10月6日～2021年10月4日)



期 首 : 10,415円

期 末 : 11,092円(既払分配金(税込み):0円)

騰 落 率 : 6.50%(分配金再投資ベース)

- (注1) 当ファンドにはベンチマークはありません。また、適当な参考指数もないことから、ベンチマーク、参考指数を記載しておりません。
- (注2) 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したとみなして計算し、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注3) 分配金の再投資についてはお客様がご利用のコース等により異なります。また、ファンドの運用経過については、当ファンドのパフォーマンスを示したものであり、ファンドの購入価額により課税条件等が異なるため、お客様の損益の状況を示すものではありません。

## ◀ 基準価額の主な変動要因 ▶ (2020年10月6日～2021年10月4日)

## 【上昇要因】

当作成期は、FRB(米国連邦準備制度理事会)による早期利上げ観測の高まりから米長期金利が上昇し、米ドルが対円で上昇するなど円安基調となったことが、基準価額の上昇要因となりました。

## 【下落要因】

保有する米国債および欧州国債などの利回りが上昇(債券価格は下落)したことが、基準価額の下落要因となりました。

≪ 1万口当たりの費用明細 ≫ (2020年10月6日～2021年10月4日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
	円	%	
(a) 信 託 報 酬	91	0.83	(a) 信託報酬＝ 期中の平均基準価額×信託報酬率
（投 信 会 社）	(70)	(0.64)	委託した資金の運用の対価
（販 売 会 社）	(18)	(0.16)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受 託 会 社）	( 3)	(0.03)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
合 計	91	0.83	
期中の平均基準価額は、10,946円です。			

(注1) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 消費税は報告日の税率を採用しています。

(注3) 項目ごとに円未満は四捨五入しております。

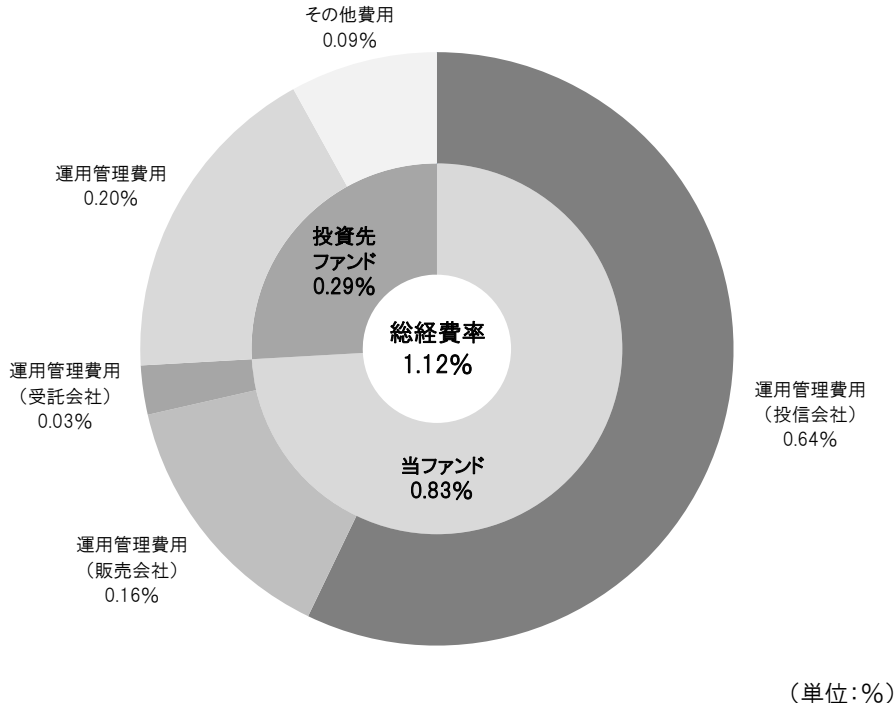
(注4) 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。

(注5) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

## (参考情報)

## 総経費率

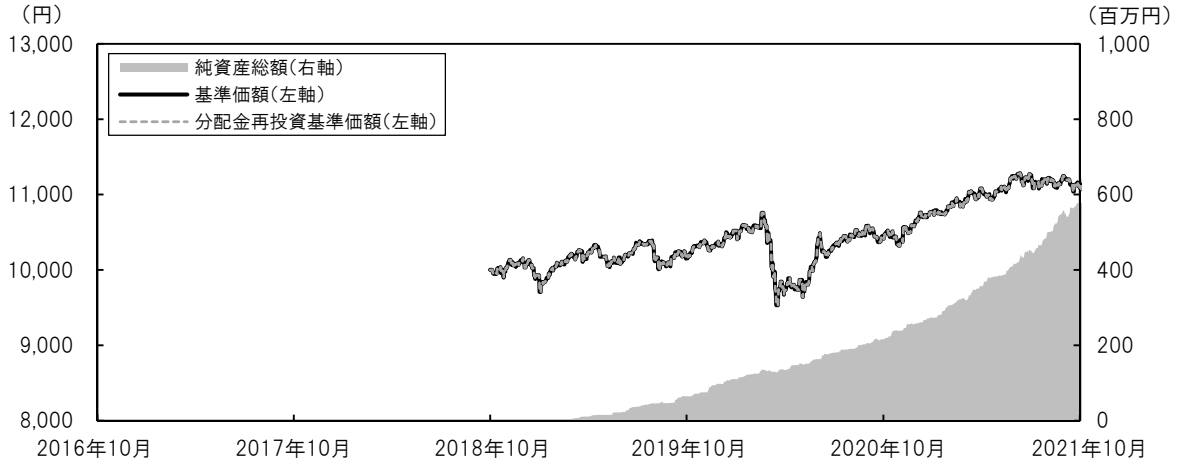
当期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した総経費率(年率)は1.12%です。



総経費率(①+②)	1.12
①当ファンドの費用の比率	0.83
②投資先ファンドの経費率(運用管理費用以外の費用を含む)	0.29

- (注1) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。  
 (注2) ②の費用は、各月末の投資先ファンドの保有比率に当該投資先ファンドの運用管理比率を乗じて算出した概算値です。  
 (注3) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。  
 (注4) 各比率は、年率換算した値です。なお、四捨五入の関係により、合計が一致しない場合があります。  
 (注5) 投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券です。  
 (注6) ①と②の費用は、計上された期間が異なる場合があります。  
 (注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

### ◀ 最近5年間の基準価額等の推移 ▶ (2016年10月4日～2021年10月4日)



(注) 設定日以降のデータが5年に満たないため、実在するデータ(2018年10月4日～2021年10月4日)のみの記載となっております。

	2018年10月4日 設定日	2019年10月3日 決算日	2020年10月5日 決算日	2021年10月4日 決算日
基準価額 (円)	10,000	10,151	10,415	11,092
期間分配金合計(税込み) (円)	—	0	0	0
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	1.51	2.60	6.50
純資産総額 (百万円)	0	64	216	574

(注1) 当ファンドにはベンチマークはありません。また、適当な参考指数もないことから、ベンチマーク、参考指数を記載しておりません。

(注2) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

(注3) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。ただし、設定日の基準価額は設定当初の金額、純資産総額は設定当初の元本額を表示しており、2019年10月3日の騰落率は設定当初との比較です。

## ◀ 投資環境 ▶ (2020年10月6日～2021年10月4日)

米国債券市場は、FRB(連邦準備制度理事会)による早期利上げ観測の高まりから、国債や社債等の利回りが上昇(債券価格は下落)しました。

ドイツ債券市場は、インフレ懸念姿勢などから利回りが上昇(債券価格は下落)しました。

米ドル/円相場は、早期利上げ観測の高まりなどから、米ドル高円安基調で推移しました。

ユーロ/円相場は、米ドルに対してユーロが下落したことから、米ドル円に比べて緩やかな上昇にとどまりました。

## ◀ 当ファンドのポートフォリオ ▶ (2020年10月6日～2021年10月4日)

### ＜ 当ファンド ＞

「PIMCOバミューダ・グローバル・ボンド・エクス・ジャパン・ファンド・クラスS(円)」および「PIMCOバミューダ・エマーシング・カレンシー・ハイインカム・ファンド・クラスS(円)」への投資を通じて、先進国債券および新興国債券等世界の債券市場に幅広く分散投資を行うことにより、安定したインカムゲインの確保と信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行いました。

### ＜ PIMCOバミューダ・グローバル・ボンド・エクス・ジャパン・ファンド・クラスS(円) ＞

当期の世界の債券市場は、期を通じて小幅な下落となりました。

米国債券市場は、新型コロナウイルスデルタ株の感染拡大への懸念などから上昇する局面もみられました。しかし、期を通じてみると、米民主党が上下院を制し、新型コロナウイルスの感染拡大に対応する大規模追加経済対策の実施やワクチンの普及に加え、FRB(連邦準備制度理事会)によるテーパリング(量的緩和の縮小)開始への言及などが下落要因となり、小幅な下落となりました。

欧州では、新型コロナウイルスのワクチン接種の進捗を受けて行動制限措置が緩和され、景気回復期待が高まったことや域内での消費者物価指数が高水準に達したこと、ECB(欧州中央銀行)がPEPP(パンデミック緊急購入プログラム)の縮小を決定したことなどを背景に期を通じて下落しました。

英国債券市場は、英国のEU(欧州連合)離脱を巡る通商交渉でEUと合意に至ったことや、英国内でインフレ率の高進を受けてBOE(イングランド銀行)利上げが想定よりも早まるとの観測が高まったことなどにより期を通じて下落しました。

米ドル/円為替市場では、米国経済の力強い回復が確認されたことや市場においてFRBの利上げ観測が高まったことなどをを受けて、期を通じてみると上昇しました(円安米ドル高)。ユーロ/円為替市場では、ECB(欧州中央銀行)がタカ派に転じたことなどを背景に上昇しました(円安ユーロ高)。

### < PIMCOバミューダ・エマージング・カレンシー・ハイインカム・ファンド・クラスS(円) >

当期の新興国通貨市場は、米国の追加経済対策の成立に対する期待などを背景にリスクオン傾向となるなか上昇基調となりました。期中、新興国において新型コロナウイルスの感染拡大などが重しとなり上昇が抑えられる局面があったものの、原油などの資源価格の急騰に伴い期末にかけて新興国通貨は再び上昇に転じました。また、対円でも米金利上昇を背景に米ドル高円安が進行し、新興国通貨は上昇しました。

### 《 当ファンドのベンチマークとの差異 》 (2020年10月6日～2021年10月4日)

当ファンドにはベンチマークはありません。また、適当な参考指数もないことから、ベンチマーク、参考指数を記載していません。

### 《 分配金 》 (2020年10月6日～2021年10月4日)

当作成期の分配金は、当ファンドの分配方針に基づき、基準価額水準や市況動向等を勘案し、下表の通りといたしました。

なお、分配に充てずに信託財産に留保した収益につきましては、元本部分と同一の運用を行います。

### ● 分配原資の内訳

(単位:円、1万口当たり、税込み)

項 目	第3期
	2020年10月6日～2021年10月4日
当期分配金	—
(対基準価額比率)	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	1,092

(注1) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注2) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## 今後の運用方針

### < 当ファンド >

引き続き、「PIMCOバミューダ・グローバル・ボンド・エクス・ジャパン・ファンド・クラスS(円)」への配分比率70%程度、「PIMCOバミューダ・エマージング・カレンシー・ハインカム・ファンド・クラスS(円)」への配分比率30%程度を基本とし、安定したインカムゲインの確保と信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行います。

### < PIMCOバミューダ・グローバル・ボンド・エクス・ジャパン・ファンド・クラスS(円) >

2021年の世界経済は地域ごとにばらつきがあるものの、景気の回復傾向が続くと見込んでおり、先進国の実質GDP(国内総生産)成長率は5.5%を予想しています。一方、2022年には財政による景気の底上げ効果が剥落することから、同成長率は3%弱まで低下するとみております。足元ではインフレが加速していますが、成長の鈍化とともにインフレ率も低下していくことから、先進国のインフレは徐々にピークアウトすると予想しています。

米国については、2021年は引き続き力強い経済成長を予測しているものの、足元では新型コロナウイルスのデルタ株の感染拡大により消費の減速がみられることから同成長見通しをやや下方修正をしております。また、家計支援のための現金給付による消費押し上げ効果が剥落することや、失業手当の加算措置が9月に失効したことから、2022年の成長は2021年に比べて鈍化すると予想しています。足元では様々な供給制約によりインフレ圧力が高まっていますが、こうした制約は2022年には解消していく見通しであり、消費財に対する需要もピークを迎えることから、インフレ率は今後落ち着く見込みです。なお、金融政策については、FRBは11月のテーパリング開始を示唆したものの、米国の債務上限問題の影響を踏まえ、テーパリングの開始が12月にずれ込む可能性があるかとみています。

ユーロ圏については、ワクチン接種が順調に進んだことを受けて、足元の経済活動は回復傾向にあります。また、新型コロナウイルスのデルタ株の感染が確認されておりますが、景気回復の大きな障害にはならないとみています。PIMCOでは、ECBがインフレ目標を達成することは困難であると予想していることから、長期間にわたり量的緩和策を継続する可能性が高いと考えています。利上げの時期については英国や米国と比較して相応に遅いタイミングになると想定しています。

英国については、ワクチン接種が進み、行動制限措置の大半が解除されていることなどから、国内景気は相対的に速いペースで回復しています。BOEは、先進国の中でも早い段階で量的緩和の縮小に踏み切り2023年に利上げを実施すると見込んでいます。また、財政政策についても緊縮方向に転じる可能性があることに加え、EU(欧州連合)離脱に伴う労働力不足などを背景に足元ではサプライチェーンの混乱が見られており、今後景気に与える影響について注視する必要があると考えます。

ファンドの運用戦略については、金利戦略では、ファンド全体でのデュレーションはベンチマーク対比でアンダーウェイトとし、国・地域・年限間の相対価値を重視して投資します。(デンマークのオーバーウェイトに対し米国、ユーロ圏、英国などをアンダーウェイト。ユーロ圏においてはイタリア、フランスのオーバーウェイトに対しドイツをアンダーウェイト)また、セクター戦略では、社債や資産担保証券のなかで、リスクを考慮しても魅力的と考えられる利回りを提供する銘柄に選択的に投資します。



< PIMCOバミューダ・エマージング・カレンシー・ハイインカム・ファンド・クラスS(円) >

PIMCOでは2021年の世界経済は地域ごとにばらつきがあるものの、景気の回復傾向が続くと見込んでおり、先進国の実質GDP(国内総生産)成長率は5.5%を予想しています。一方、2022年には財政による景気の底上げ効果が剥落することから、同成長率は3%弱まで低下するとみております。足元ではインフレが加速していますが、成長の鈍化とともにインフレ率も低下していくことから、先進国のインフレは徐々にピークアウトすると予想しています。先進国ではテーパリング(量的緩和の縮小)開始の動きが広がっていますが、先進国の多くの中央銀行が早期に利上げに踏み切る可能性は低いとみています。新興国は先進国と比べワクチン接種が遅れていることから、新興国経済の完全な回復は先進国より遅れるとみています。新興国の2021年10-12月期実質GDP成長率は前年同期比3.5%を見込んでいますが、集団免疫確立により2022年には最大5%程度まで成長が加速するとみています。ただし、景気回復の速度は、ワクチン接種のペース、サービス・観光業の回復、各国の政策スタンス、資源価格といった要因により異なることから、新興国内でも個別の国毎に大きな差が生じると予想しています。当面、財務状況に余力があり、ショックへの耐性を有する国々の通貨への投資を継続します。具体的には、商品市況の持ち直しに加え、中央銀行がインフレ抑制のため利上げを継続する姿勢を示しているロシアを積極姿勢としています。一方、相対的に利回りの魅力が乏しいルーマニアレウを消極姿勢としています。

## お知らせ

該当事項はありません。

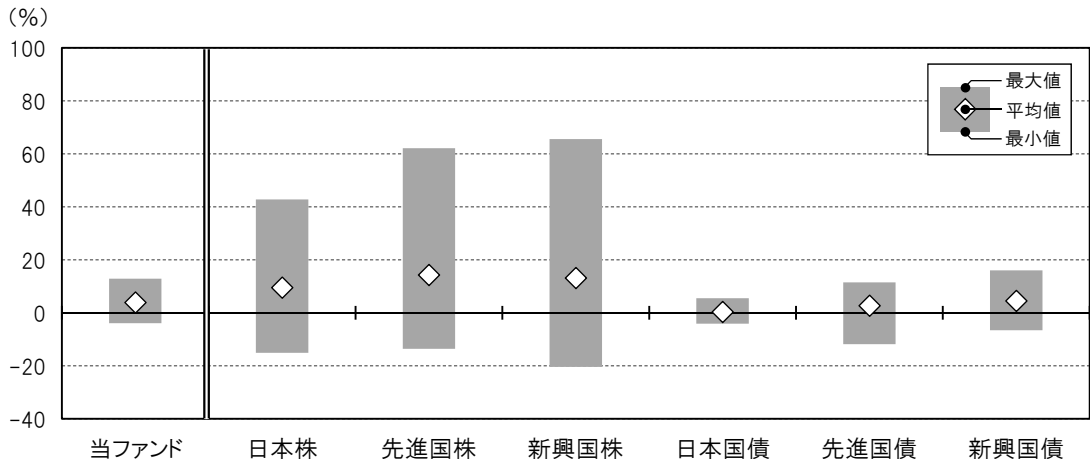
## 当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／債券
信託期間	無期限(2018年10月4日設定)
運用方針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目指して運用を行います。
主要投資対象	別に定める投資信託証券*を主要投資対象とします。なお、短期金融商品等に直接投資する場合があります。
運用方法	<p>① 主として、投資対象ファンドへの投資を通じ、先進国債券および新興国債券等世界の債券市場に幅広く分散投資を行うことにより、安定したインカムゲインの確保と信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。</p> <p>② 投資対象ファンドの組入比率は高位を維持することを基本とします。各投資対象ファンドへの投資比率は、原則として、市況環境および投資対象ファンドの収益性等を勘案して決定します。なお、資金動向等によっては、投資対象ファンドへの投資比率を引き下げることもあります。投資対象ファンドについては、収益機会の追求やリスクの分散などを目的として、適宜見直しを行いません。この際、定性評価や定量評価等を勘案のうえ、新たに投資対象ファンドを指定したり、既に指定されていた投資対象ファンドを外したりする場合があります。</p> <p>③ 外国投資信託受益証券の運用指図に関する権限を、ピムコジャパンリミテッドに委託します。</p> <p>④ 資金動向、市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。</p>
分配方針	<p>毎決算時(年1回、毎年10月3日。休業日の場合は翌営業日)に決算を行い、原則として以下の方針に基づき収益の分配を行います。分配金は決算日から起算して5営業日以内に支払いを開始します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 分配対象額の範囲 経費控除後の配当等収益および売買益(評価益を含みます。)等の全額とします。</li> <li>・ 分配対象額についての分配方針 委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合は、分配を行わないことがあります。</li> <li>・ 留保益の運用方針 収益分配にあてず信託財産内に留保した利益については、運用の基本方針に基づき、元本部分と同一の運用を行います。</li> </ul>

\*「別に定める投資信託証券」とは、バミューダ籍外国投資信託「PIMCOバミューダ・グローバル・ボンド・エクス・ジャパン・ファンド・クラスS(円)」およびバミューダ籍外国投資信託「PIMCOバミューダ・エマージング・カレンシー・ハイインカム・ファンド・クラスS(円)」です。

## (参考情報)

## 当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較 (2016年10月～2021年9月)



(単位:%)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	12.9	42.8	62.1	65.6	5.5	11.5	16.0
最小値	△ 3.9	△ 15.1	△ 13.6	△ 20.4	△ 4.1	△ 11.8	△ 6.6
平均値	3.9	9.5	14.3	13.1	0.3	2.7	4.5

(注1) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注2) 2016年10月から2021年9月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注3) 当ファンドについては設定日以降のデータが5年に満たないため2018年10月4日から2021年9月30日のデータを基に算出しております。

(注4) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

## 《各資産クラスの指数》

- 日本株 … Morningstar 日本株式指数(税引前配当込み、円ベース)
- 先進国株 … Morningstar 先進国株式指数(除く日本、税引前配当込み、円ベース)
- 新興国株 … Morningstar 新興国株式指数(税引前配当込み、円ベース)
- 日本国債 … Morningstar 日本国債指数(税引前利子込み、円ベース)
- 先進国債 … Morningstar グローバル国債指数(除く日本、税引前利子込み、円ベース)
- 新興国債 … Morningstar 新興国ソブリン債指数(税引前利子込み、円ベース)

※ 各指数についての説明は、P14の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

## 当ファンドのデータ

◀ 組入資産の内容 ▶ (2021年10月4日現在)

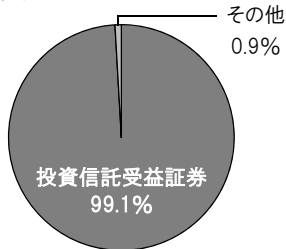
### ● 組入上位ファンド

銘柄名	第3期末
PIMCOバミューダ・グローバル・ボンド・エクス・ジャパン・ファンド・クラスS(円)	68.6%
PIMCOバミューダ・エマージング・カレンシー・ハイインカム・ファンド・クラスS(円)	30.5%
組入銘柄数	2銘柄

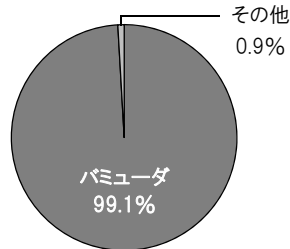
(注1) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載されています。

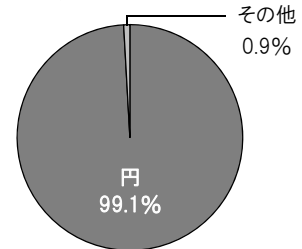
### ● 資産別配分



### ● 国別配分



### ● 通貨別配分



(注1) 資産別配分の比率は純資産総額に対する割合です。

(注2) 国別配分は発行国を表示しております。

(注3) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

### ◀ 純資産等 ▶

項目	第3期末
	2021年10月4日
純資産総額	574,753,280円
受益権総口数	518,160,979口
1万口当たり基準価額	11,092円

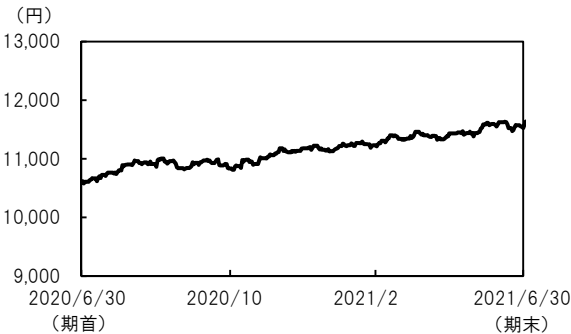
(注) 期中における追加設定元本額は417,641,922円、同解約元本額は106,941,248円です。

## ◀ 組入上位ファンドの概要 ▶

### ■ PIMCOバミューダ・グローバル・ボンド・エクス・ジャパン・ファンド・クラスS(円)

※ 作成時点において、入手可能な直前計算期間の年次報告書を基に作成しております。

#### ● 基準価額の推移 (2020年7月1日～2021年6月30日)



#### ● 1万口当たりの費用明細 (2020年7月1日～2021年6月30日)

当該期間の1万口当たりの費用明細については開示されていないため、掲載しておりません。

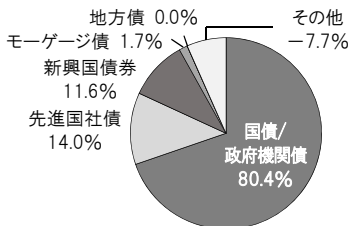
#### ● 組入上位銘柄 (2021年6月30日現在)

銘柄名	債券種別	クーポン(%)	償還日	通貨	保有比率(%)
1 U S TREASURY BOND	国債/政府機関債	1.63	2050/11/15	USD	3.4
2 U S TREASURY BOND	国債/政府機関債	1.88	2041/02/15	USD	2.9
3 AUSTRALIA GOVT	国債/政府機関債	0.50	2026/09/21	AUD	2.3
4 FRANCE (GOVT OF)	国債/政府機関債	3.25	2045/05/25	EUR	2.0
5 UK GILT 4.25 12/07/2040 BD	国債/政府機関債	4.25	2040/12/07	GBP	1.9
6 SPANISH GOVT BD (BONOS Y OBLIG)	国債/政府機関債	0.25	2024/07/30	EUR	1.9
7 NYKREDIT REALKREDIT AS**PARTIAL CALL**10	先進国社債	1.00	2050/10/01	DKK	1.8
8 SPANISH GOVT BD (BONOS Y OBLIG)	国債/政府機関債	1.40	2028/07/30	EUR	1.7
9 U S TREASURY INFLATE PROT BD	国債/政府機関債	2.50	2029/01/15	USD	1.6
10 SPANISH GOVT BD (BONOS Y OBLIG)	国債/政府機関債	1.25	2030/10/31	EUR	1.4
組入銘柄数					654銘柄

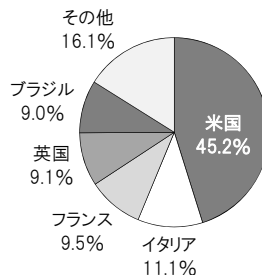
(注1) 比率は、純資産総額に対する割合です。

(注2) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

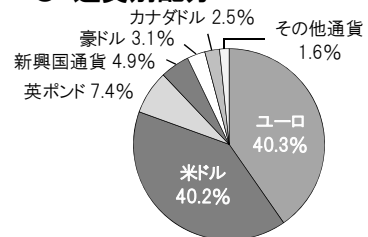
#### ● 資産別配分



#### ● 国別配分



#### ● 通貨別配分



(注1) 資産別・国別・通貨別のデータは2021年6月30日現在のものです。

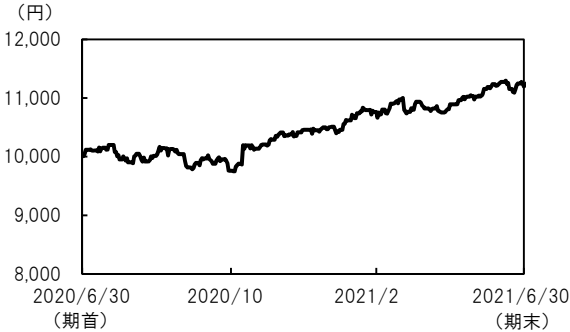
(注2) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注3) 国別配分は投資国を表示しております。

## ■ PIMCOバミューダ・エマージング・カレンシー・ハイインカム・ファンド・クラスS(円)

※ 作成時点において、入手可能な直前計算期間の年次報告書を基に作成しております。

### ● 基準価額の推移 (2020年7月1日～2021年6月30日)



### ● 1万口当たりの費用明細 (2020年7月1日～2021年6月30日)

当該期間の1万口当たりの費用明細については開示されていないため、掲載しておりません。

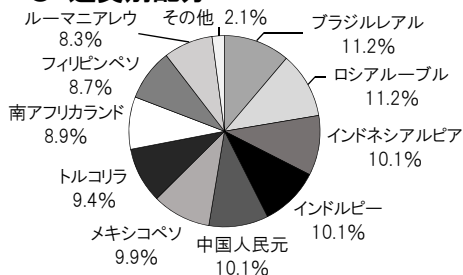
### ● 組入上位銘柄 (2021年6月30日現在)

銘柄名	業種/種別等	クーポン(%)	償還日	通貨	保有比率(%)
1 U S TREASURY BILLS	国債	0.00	2021/08/26	米ドル	17.0
2 JAPAN TREASURY DISC BILL #995	国債	0.00	2021/08/23	日本円	10.0
3 ISRAEL FIXED BOND	国債	5.50	2022/01/31	イスラエルシェケル	8.5
4 MEX BONOS DESARR FIX RT	国債	7.25	2021/12/09	メキシコペソ	5.9
5 COLOMBIA GOVT BOND	国債	10.00	2024/07/24	コロンビアペソ	4.5
6 SOUTH AFRICA (REP) BD SER R186	国債	10.50	2026/12/21	南アフリカランド	4.3
7 U S TREASURY BILLS	国債	0.00	2021/12/09	米ドル	3.0
8 HUNGARY GOVERNMENT BOND	国債	1.50	2022/08/24	ハンガリーフォロント	1.8
9 SWISS INSURED BRAZIL SEC 144A	社債	9.85	2032/07/16	ブラジルリアル	1.5
10 U S TREASURY BILLS	国債	0.00	2021/07/13	米ドル	1.4
組入銘柄数					607銘柄

(注1) 比率は、純資産総額に対する割合です。

(注2) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

### ● 通貨別配分



(注1) 基準価額の推移、組入上位銘柄、通貨別のデータは2021年6月30日現在のものです。

(注2) 通貨別配分の比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について
-----------------------------

## 《各指数の概要》

- 日本株：Morningstar 日本株式指数(税引前配当込み、円ベース)は、Morningstar, Inc.が発表している配当込み株価指数で、日本に上場する株式で構成されています。
- 先進国株：Morningstar 先進国株式指数(除く日本、税引前配当込み、円ベース)は、Morningstar, Inc.が発表している配当込み株価指数で、日本を除く世界の先進国に上場する株式で構成されています。
- 新興国株：Morningstar 新興国株式指数(税引前配当込み、円ベース)は、Morningstar, Inc.が発表している配当込み株価指数で、世界の新興国に上場する株式で構成されています。
- 日本国債：Morningstar 日本国債指数(税引前利子込み、円ベース)は、Morningstar, Inc.が発表している債券指数で、日本の国債で構成されています。
- 先進国債：Morningstar グローバル国債指数(除く日本、税引前利子込み、円ベース)は、Morningstar, Inc.が発表している債券指数で、日本を除く主要先進国の政府や政府系機関により発行された債券で構成されています。
- 新興国債：Morningstar 新興国ソブリン債指数(税引前利子込み、円ベース)は、Morningstar, Inc.が発表している債券指数で、エマージング諸国の政府や政府系機関により発行された米ドル建て債券で構成されています。

## 《重要事項》

Morningstar, Inc.またはイボットソン・アソシエイツ・ジャパン株式会社を含むMorningstar, Inc.の関連会社(これらの法人全てを総称して「Morningstarグループ」といいます)は、当ファンドを組成、推薦、販売または宣伝するものではありません。Morningstarグループは、投資信託への一般的な投資の当否、特に当ファンドに投資することの当否、または一般的な世界株式市場の騰落率と連動するMorningstarインデックスの能力について、当ファンドの投資者または公衆に対し、明示または黙示を問わず、いかなる表明保証も行いません。Morningstarインデックスは、MorningstarグループがSBI bonds・インベストメント・マネジメント(以下、「当社」といいます)または当ファンドとは無関係に判断、構成、算定しています。Morningstarグループは、Morningstarインデックスの判断、構成または算定を行うにあたり、当社または当ファンドの投資者のニーズを考慮する義務を負いません。Morningstarグループは、当ファンドの基準価額および設定金額あるいは当ファンドの設定あるいは販売の時期の決定、または当ファンドの解約時の基準価額算出式の決定あるいは計算について責任を負わず、また関与しておりません。Morningstarグループは、当ファンドの運営管理、マーケティングまたは売買取引に関連していかなる義務も責任も負いません。

Morningstarグループは、Morningstarインデックスまたはそれに含まれるデータの正確性および/または完全性を保証せず、また、Morningstarグループは、その誤謬、脱漏、中断についていかなる責任も負いません。Morningstarグループは、当社、当ファンドの投資者またはユーザー、またはその他の人または法人が、Morningstarインデックスまたはそれに含まれるデータを使用して得る結果について、明示または黙示を問わず、いかなる保証も行いません。Morningstarグループは、Morningstarインデックスまたはそれに含まれるデータについて明示または黙示の保証を行わず、また商品性あるいは特定目的または使用への適合性に関する一切の保証を明確に否認します。

上記のいずれも制限することなく、いかなる場合であれ、Morningstarグループは、特別損害、懲罰的損害、間接損害または結果損害(逸失利益を含む)について、たとえこれらの損害の可能性を告知されていたとしても責任を負いません。